

# レッサーパンダのかんさつシート

レッサーパンダの中からお気に入りの1頭を決めて、観察しよう！

## いた場所をチェック！

- ( ) 木の上
- ( ) 小屋の下
- ( ) はしご
- ( ) 地面(土の上)
- ( ) 石の上
- ( ) その他 ( )

なに  
何をしていたかな？

かんさつ  
観察している間にいた  
場所に○をしよう。

- ( ) 小屋の中
- ( ) 小屋の屋根の上
- ( ) つり橋の上
- ( ) 地面(草の上)

かお  
顔の模様を描き  
いれてみよう。  
模様は1頭ずつ  
ちがうよ。



## 手をチェック！

レッサーパンダの手はどれかな？  
○をつけてね。



なまえ

ほか  
他のレッサーパンダとちがうところはどんなところ？

## しっぽをチェック！

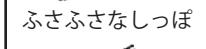
しっぽがないので、描きいれてね。  
しっぽは何のためにあるのかな？  
考えてみよう。

## しっぽのある動物を探そう！

あ  
当てはまるしっぽと線でむすんでみよう。



・アナグマ



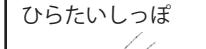
・ニホンリス



・ウマ



・ゾウ



・アメリカビーバー



・キリン



・フサオマキザル



・ワオキツネザル



学校名

なまえ  
名前

## 先生用 レッサーパンダのかんさつシートと解説

**ワークシートのねらい** レッサーパンダの行動や体の特徴を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、同じ種の個体ごとの違いや命について考えるきっかけとする。

### ■ シセンレッサーパンダ 食肉目アライグマ科

- ・ジャイアントパンダとレッサーパンダはそれぞれ竹を主食とするので「パンダ」と呼ばれますが、ジャイアントパンダはクマに近く、レッサーパンダはアライグマに近い動物です。レッサーパンダがはじめに“パンダ”（現地語の“ポンヤ”（竹を食べるもの）がなまつたもの）と呼ばれていました。
- ・上手に前肢でものをもてます。  
前肢の付け根に突起があり、第6の指と言われています。これをうまく使って竹をつかんで上手に食べることができます。
- ・雑食性  
孟宗竹のやわらかい葉を好み、木の実や根、キノコ、まれに小動物や鳥、虫、卵などを食べます。動物公園では、孟宗竹の葉や、リンゴ、ニンジン、サツマイモを与えています。

### ■ 千葉市動物公園のレッサーパンダ

動物公園で飼育展示されているレッサーパンダは、中国雲南省や四川省からミャンマー北部に生息する「シセンレッサーパンダ」です。

個体によって顔の模様の入り方が異なり、個体判別に役立てています。顔の模様だけでなく、人間と同じように個性もあります。木登りが好きな個体もいれば、小屋の中で過ごすのが好きな個体もいます。いろいろな個体のちがいを見つけて、1つの命について考えてみましょう。



### ■ 山地で木登り上手！

標高1800～4000mの竹林のまじる高地の森林に生息しています。早朝や夕方に活動し、昼間と夜間はほとんど寝ています。地上ではもたもたした歩き方ですが、木の上では上手に動きまわります。そこで役に立っているのが、毛がいっぱい生えている足の裏。毛が滑り止めの役割を果たしています。また、しっぽでバランスをとっています。園内でも小屋や木に昇っている様子がよく見られます。

さらに、樹上では、地上の天敵に見つからないように、腹側が黒い毛色をしており、地上からは見つかりにくくなっているのも野生で生き抜くための工夫です。

### ■ ふさふさのしっぽ

レッサーパンダのしっぽは、ふさふさで縞模様です。バランスをとったり、寝るときは身体に巻きつけて体温を調整したり、しっぽを立てて威嚇したりします。

動物によってしっぽの役割は様々ですが、園内でみられる動物のしっぽを見比べると、形や使い方もそれぞれであることがわかります。

ふさふさなしっぽ

アナグマ、  
ニホンリス、  
フサオマキザル、  
ワオキツネザルなど  
バランスをとったり、木に巻き  
つけて、体を支えています。

ひらたいしつぽ

アメリカビーバーなど、  
上下に動かして、  
泳ぐのに役立っています。

ほそながいしつぽ

ゾウやキリンなど  
体にとまるハエなど  
を追い払っています。

長い毛のしつぽ

ウマなど、  
ハエなどを追い払ったり、  
感情を表したりしています。

他にもいろいろなしつぽ  
があるので、  
探してみよう！

### \* 飼育員のコラム 『レッサーパンダはなぜ2本足で立つか』\*

レッサーパンダはみんな2本足で立ちます。どんな時立ち上がるかというと、竹を食べるときに先の柔らかい竹の葉を食べるため立ち上がります。また周囲を警戒するために周りを見るために立ち上がります。

普段は4本足で生活している彼らですがいとも簡単に2本足で立ちます。なぜこんなに上手に立てるのかというと、足の着き方が人と同じようにかかとまでつけています。また長い尻尾を使って微妙なバランスをとることができます。ひざの関節が前後左右に人と同じように動かせバランスがとりやすくなっています。

人は木の上で生活していたサルが地上に降り大地を移動するようになって2本足で立つようになったといわれています。普段は安全な木の上にいるレッサーパンダが地上で餌をとるため立ったと考えられています。人とレッサーパンダの2本足も共通点があると思います。